

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
2 年	児童文化Ⅰ～2	宮崎 晃子	
サブタイトル	表現あそび（ダンス）の創作と指導	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	後期	出席要件	4／5 以上
到 達 目 標			
幼児が、身体で表現する楽しさを体験できるように、導くことができることを目的とする。 1. 既成作品を通して、 幼児の身体表現の基礎となる動きを獲得することができる。 2. 幼児の身体表現の可能性や意義について、自分なりの考えをもつことができる。 3. 保育者として、幼児が楽しく動ける動きを探究し、指導する力をもつことができる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
1. 子どもの身体表現についての理解を深め、豊かな表現・技能を身につける。 2. 幼児の身体表現を受容し、肯定的に受けとめ、適切に援助できる力を身につける。 3. グループ作業を通して、周りと協働しながら主体的に問題解決する態度を身につける。			
授 業 の 方 法			
1. 既成作品の演習を行う。 2. 幼児の身体表現ならびに指導について説明する。 3. 模擬指導に向け、動きを探究し、保育の構想を組み立てる。 4. 模擬指導を実施し、意見交換を行う。 5. ノートに、気づきや要点を記入し、授業内容を整理・確認する。			
テキスト・教材・参考図書			
教 材 等：授業内で別途指示する。 参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』 チャイルド本社 2017 年			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
実技と併せて、課題ごとの提出物や小テスト、期末のレポート（ノート）の提出など総合的に評価する。 課題の詳細はその都度授業内で知らせる。		レポート	40%
		実技・作品など	40%
		小テスト	10%
		授業への貢献度	10%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
1. ホールでの授業は体操服を着用する。足元はすべらないように裸足またはダンスシューズ。 2. B5またはA4サイズのノートを使用する。 3. 授業中のモバイル機器の使用は、動画撮影ならびに音楽再生のみ許可する。 長年にわたり、作品創作や後進の育成を行ってきた経験を活かして、表現あそび（ダンス）について指導します。			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	【ガイダンス】授業内容の確認、進め方の説明を行う 【創作と指導の要点】幼児向けの作品創作ならびに指導する際の注意点を学ぶ	前期の振り返り 科目の理解 創作と指導の知識
2 回	【表現あそびの基礎①】既成作品（友達作りに役立つ作品）を練習	想像力 表現力
3 回	【表現あそびの基礎②】既成作品（イメージを大切に表現する）を練習	想像力 表現力
4 回	【模擬指導②】2～3回目に習得した既成作品から1曲選び、模擬指導を行う	指導力 全体を見る力
5 回	【イメージと表現①】既成作品（なりきって表現する）を練習	想像力 表現力 リズム感
6 回	【イメージと表現②】既成作品（なりきって表現する）を練習	想像力 表現力 リズム感
7 回	【模擬指導②】5～6回目に習得した既成作品から1曲選び、模擬指導を行う	指導力 全体を見る力
8 回	【動きの探求①】幼児の興味関心にあったテーマ、発達に応じた動きを考える	保育の構想 幼児の興味関心 幼児の発達の理解
9 回	【動きの探求②】ねらいを明確にして、教材を研究し、指導の仕方考える	保育の構想 表現力 省察する力
10 回	【模擬指導③】課題「子どもが楽しく動ける動きの探求①」に取り組む	指導力 全体を見る力
11 回	【動きの探求①】幼児の興味関心にあったテーマ、発達に応じた動きを考える	保育の構想 幼児の興味関心 幼児の発達の理解
12 回	【動きの探求②】ねらいを明確にして、教材を研究し、指導の仕方考える	保育の構想 表現力 省察する力
13 回	【模擬指導④】課題「子どもが楽しく動ける動きの探求②」に取り組む	指導力 全体を見る力
14 回	【総まとめ】既成作品の総復習。保育者の使命と責任について、ならびに、自らが理想とする保育者像の形成について考える	表現力 自己課題の明確化